




フィールドビンゴ (環境学習)

活動名	フィールドビンゴ (環境学習)			
概要 (セールスポイント)	9つのマス目のシートに自然に触れるような課題を書いた「ビンゴシート」を使って個人やグループで活動します。五感を使い自然の様々な色や音を見て感じる活動をすることで、自然に興味・関心を持つとともに、自然からの発見や感動を得ることをねらいとしています。また、グループで活動することにより、仲間との協力や仲間づくりにも効果のある活動です。			
諸条件	場所	所内	対象	小学生以上
	所要時間	1時間～2時間	人数	数人から100人程度(要相談)
	時期	全シーズン	天候	小雨可(雨天中止)
活動の 教育的効果	(1)五感を使って自然に触れることにより、感性を高め自然に親しむ心をはぐくむことができます。 (2)仲間と協力することの大切さを感じることができます。			
準備する物	青少年交流の家が貸し出す物		団体が準備する物	
	<input type="checkbox"/> 所内の地図 <input type="checkbox"/> クリップボード		<input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> フィールドビンゴシート(③)	
活動内容 (手順)	所要時間	項目	内容	備考
	事前	グループ編成 (グループで活動する場合)	<input type="checkbox"/> 事前にグループ編成をする。 <input type="checkbox"/> グループのリーダーを決めておく。	
	10分	活動方法の説明	<input type="checkbox"/> 軽くウォーミングアップを行う。 <input type="checkbox"/> ビンゴシートと地図を各グループに配布する。 <input type="checkbox"/> 活動方法を説明する(①)。 <input type="checkbox"/> 安全指導を行う(①)。	
	50～ 60分	グループ別の活動	<input type="checkbox"/> 集合場所を明確に伝える。 <input type="checkbox"/> (事前ミーティングを行なわない場合)どこから回るか等、行動計画を話し合う。 <input type="checkbox"/> 一斉、もしくは時間差でスタートする。	
	10分	集合・まとめ	<input type="checkbox"/> 各グループの人数を確認する。 <input type="checkbox"/> 各グループの結果と感想を発表する。 <input type="checkbox"/> 貸し出し物品を返却する。	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 転倒、木の枝などによるけが <input type="checkbox"/> 他団体の活動への支障 <input type="checkbox"/> 虫刺され など			
指導の バリエーション	<input type="checkbox"/> 富士山麓トレッキング等での活用(②) <input type="checkbox"/> 課題を子どもたちに考えさせる場合(②) <input type="checkbox"/> グループ活動を目的とした場合(②)			

※①、②、③は資料番号を示す

やり方の説明・安全指導

【やり方の説明】

- ①「これから『フィールドビンゴ』を行います。これは、みんなが自然にたくさんふれるゲームです。ふだんは気付かない自然の宝物をたくさんみつけてください。」
- ②「みんなに配った『ビンゴシート』に問題が書いてあります。例えば「飛べる生き物」とか「光っている物」とか、それを見つけたら、問題の下の欄に見つけたものをイラスト等で書いてください。」
- ③「まずは縦・横・ななめにそろったらビンゴです。」
- ④グループで活動する場合「グループでまとまってさがします。何か見つけたらグループで話しあって、それにするかどうかを決めてください。」

【事後指導】

- ①数人のグループにします。
- ②「グループの中でどんなものを発見したかを紹介しあってください。」
- ③時間の制約があれば、紹介するものの数を限定します。
- ④グループで活動した場合は、グループが全体に紹介します。

【ルールと安全指導】

- ①「花や草などを採らないようにしましょう。」
- ②「『道』があるところは『道』を歩きましょう。草地に入るときはへびや草のトゲに気をつけましょう。」
- ③「このゲームはみんなにじっくりと自然に触れてもらうことがねらいですから、走らないで歩きましょう。」
- ④制限時間を設ける場合は「〇〇時〇〇分に〇〇〇に戻ってきます。」
- ⑤「困ったことがあったら〇〇〇と〇〇〇に先生（リーダー）がいますから、そこまできてください。」

※子どもたちに、先生が居る場所を伝え、地図に記しをつけさせます。

指導のバリエーション

【富士山麓トレッキング等での活用】

- ①トレッキングやポイントラリーなど自然に親しむことを目的として実施する場合、フィールドビンゴを併用することができます。
- ②活動の方法は通常と同じですが、過度の負担にならないような設定にします。

【グループ活動を目的とした場合】

- ①グループで活動することで協調性をはぐくんだり、一体感を味わったりすることを目的としています。
- ②ルールはグループで探すことです。ですからグループがまとまって行動すること、グループで話し合っ進めることとなります。
- ③活動後のふりかえりの視点は、グループ活動に焦点をあてたものになります。例えば、まとまって行動できたか、どうしてできたのか、どうしてできなかったのかなどです。

【課題を子どもたちに考えさせる場合】

- ①引率者がある程度、条件を制約する場合としない場合が考えられます。
- ②条件を制約しない場合は次のような展開が考えられます。
 - ・「みなさんは自然の中にはどんなものがあると思いますか。」
 - ・花、木、芽、動物といった具体的なものがでてくるのが予想されます。
 - ・具体的なものしかでてこなかった場合「ではどんな木でしょうか」と聞く。
 - 大きな木、葉っぱの付いた木、すべすべした木といった木のより具体的な様子を表したことが出てくるのが予想されます。
 - ・こうしたことを繰り返して、課題を設定していきます。
- ③ある程度条件を設定する場合は、次のような展開が考えられます。
 - 「上段には、自然の中にある色を3つあげてみましょう。」
 - 「中段には『さわり心地』を3つあげてみましょう。」
 - 「下段には『目に見えないもの』を3つあげてみましょう。」
- ④課題を考えるのに要する時間（確保する）によっては、中央青少年交流の家に来る前に指導することも考えられます。

フィールドビンゴシート



<small>あか いろ</small> 赤い色のもの	つるつるしたもの	<small>ほな</small> かわいらしい花	<small>とり ほね</small> 鳥の羽
さかな	<small>かお</small> いいにおい(香り)	<small>す</small> クモの巣	<small>おお は</small> 大きな葉っぱ
<small>かぶ</small> きり株	<small>は</small> ぎざぎざした葉っぱ	<small>どうぶつ</small> 動物のふん	ふわふわしたもの
<small>き み</small> 木の実	<small>とり な ごえ</small> 鳥の鳴き声	きのこ	<small>あお いろ</small> 青い色のもの

- ① 項目に書いてあるものを見つけましょう。
- ② 見つけたら、そのイラストを下の空欄に描きます。
- ③ たて、よこ、ななめ で4つ並んだら「ビンゴ!」です。

※本シートの項目は一例です。

引率者が項目を設定するパターンと子供たちに考えさせるパターンがあります。